

単元名：「大きなジャンプで、とんだり回ったり」（跳び箱運動）第3学年

1 単元目標

(1) 知識および技能 跳び箱運動の行い方を知るとともに、切り返し系や回転系の基本的な技ができるようにする。
(2) 思考力・判断力・表現力 自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。
(3) 学びに向かう力、人間性 運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動したり、友達の考えを認めたり、場や器械・器具の安全に気をつけたりすることができるようにする。

◎ 単元の評価規準に盛り込むべき事項（※内容のまとめりごとの評価基準）

(1) 知識・技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
跳び箱運動の行い方を知るとともに、切り返し系や回転系の基本的な技を身につけている。	自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えている。	運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動したり、友達の考えを認めたり、場や器械・器具の安全に気をつけている。

◎ 単元の評価規準（※これまで「学習活動に則した評価規準」として作成していたもの）

(1) 知識・技能	(2) 思考・判断・表現	(3) 主体的に学習に取り組む態度
① 跳び箱運動の基本的な技や発展技の行い方を知っている。 ② 切り返し系の基本的な技を身に付けている。 ③ 回転系の基本的な技を身に付けている。	① 自分の課題に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 ② 課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	① 進んで跳び箱運動に取り組もうとしている。 ② きまりを守り、友達と協力して運動しようとしている。 ③ 場の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ④ 進んで用具の準備や片付けをし安全に気をつけている。

3 年生 単元計画（7時間） 跳び箱運動「大きなジャンプで、とんだり回ったり」

1時間	2～3時間	4時間	5・6時間	7時間
<めあて> とび箱運動の学習の進め方を知ろう	<めあて> 切り返し系の技に挑戦しよう	<めあて> かかえこみとびに挑戦しよう	<めあて> 回転系の技に挑戦しよう	<めあて> これまで練習した技を発表しよう
①ベアストレッチ ②めあての確認 ③オリエンテーション ④基礎感覚運動（パワーアップタイム） ⑤できる技チャレンジ ⑥ふり返り	①ベアストレッチ ②パワーアップタイム ③めあての確認 ④やってみようタイム ④きらりタイム ⑤学び合いタイム ⑥ふり返り	①ベアストレッチ ②パワーアップタイム ③めあての確認 ④やってみようタイム ④きらりタイム ⑤学び合いタイム ⑥ふり返り	①ベアストレッチ ②パワーアップタイム ③めあての確認 ④やってみようタイム ④きらりタイム ⑤学び合いタイム ⑥ふり返り	①ベアストレッチ ②パワーアップタイム ③めあての確認 ③発表会練習タイム ④きらりタイム ⑤シンクロ発表会 ⑥ふり返り

4 年生 単元計画（7時間） 跳び箱運動「大きなジャンプで、ピタリと着地！」

1時間	2～3時間	4～5時間	6時間	7時間
<めあて> とび箱運動の学習の進め方を知ろう	<めあて> 切り返し系の技に挑戦しよう	<めあて> 回転系の技に挑戦しよう	<めあて> 切り返し系と回転系の技のできばえをあげよう	<めあて> これまで練習した技を発表しよう
①ベアストレッチ ②めあての確認 ③オリエンテーション ④基礎感覚運動（パワーアップタイム） ⑤できる技チャレンジ ⑥ふり返り	①ベアストレッチ ②パワーアップタイム ③めあての確認 ④やってみようタイム ⑤きらりタイム ⑥学び合いタイム ⑦ふり返り	①ベアストレッチ ②パワーアップタイム ③めあての確認 ④やってみようタイム ⑤きらりタイム ⑥学び合いタイム ⑦ふり返り	①ベアストレッチ ②パワーアップタイム ③めあての確認 ④やってみようタイム ⑤きらりタイム ⑥学び合いタイム ⑦ふり返り	①ベアストレッチ ②パワーアップタイム ③めあての確認 ④発表会練習タイム ⑤きらりタイム ⑥シンクロ発表会 ⑦ふり返り

※やってみようタイム…自分のできる技やできそうな技にチャレンジする。
 ※きらりタイム…友達の良い所や技のできるポイント等を共有する。
 ※学び合いタイム…グループで伝え合い、学び合いながら練習する。

◎ 指導と評価の計画

時	1	2・3	4	5・6	7
学習内容	単元の学習内容を知り、見通しをもって学習に取り組めるようにする。	開脚跳びの行い方を知り、開脚跳びに挑戦したり、技のできばえをあげたりする。	かかえこみ跳びの行い方を知り、かかえこみ跳びに挑戦する。	台上前転の行い方を知り、台上前転に挑戦したり、技のできばえをあげたりする。	できるようになった技を発表する。
めあて	学習の進め方を知り、パワーアップタイムにチャレンジしよう	<2時> 開きやく跳びの技のポイントを知り、チャレンジしよう <3時> 開きやく跳びの技のポイントをもとに、できばえをあげよう	かかえこみ跳びの技のポイントを知り、チャレンジしよう	<5時> 台上前転の技のポイントを知り、チャレンジしよう <6時> 台上前転の技のポイントをもとに、できばえをあげよう	グループでシンクロ発表会をしよう
0	場の準備 → 準備運動 → 基礎感覚運動 (跳び箱運動サーキット)				
オリエンテーション	【やってみようタイム】 ・映像を見て開脚跳びの技のポイントを確認する。 ・安全面の約束やきまりの確認。 ・場の準備や片付けの仕方の確認。 ・基礎感覚運動の紹介。	【やってみようタイム】 ・映像を見てかかえこみ跳びの技のポイントを確認する。 ○かかえこみ跳びにチャレンジする。 ・自分の力に合った場から練習を進めステップアップする。 ☆きりりタイム (友だちの良いところをほめたり、技のポイントを共有する) 【学び合いタイム】 ・同じ課題を持った友達と、場を選んで伝え合ったり教え合ったりして、練習を進める。 ※<3時>では、技のできばえをあげる	【やってみようタイム】 ・映像を見てかかえこみ跳びの技のポイントを確認する。 ○かかえこみ跳びにチャレンジする。 ・自分の力に合った場から練習を進めステップアップする。 ☆きりりタイム (友だちの良いところをほめたり、技のポイントを共有する) 【学び合いタイム】 ・同じ課題を持った友達と、場を選んで伝え合ったり教え合ったりして、練習を進める。	【やってみようタイム】 ・映像を見て台上前転の技のポイントを確認する。 ○台上前転にチャレンジする。 ・自分の力に合った場から練習を進めステップアップする。 ☆きりりタイム (友だちの良いところをほめたり、技のポイントを共有する) 【学び合いタイム】 ・同じ課題を持った友達と、場を選んで伝え合ったり教え合ったりして、練習を進める。 ※<3時>では、技のできばえをあげる	【やってみようタイム】 ・グループの友だちと協力してシンクロ発表会の練習をする。 ・前もって立てた計画をもとに、シンクロを意識して取り組む。 ○シンクロ発表会をする。 ・計画表をもとに、グループの友達とできる技で、シンクロ発表会をする。 ・グループごとにシンクロ発表会をし、見合う。 ☆きりりタイム ・もう一度発表したいグループに発表させる。
45	振り返り → 整理運動 → 片付け				
知		①② 観察		①③ 観察	
思			② 観察・カード		① 観察・カード
態	④ 観察	① 観察		② 観察	③ 観察

指導計画 <第1時>オリエンテーション・基礎感覚運動

ねらい	跳び箱運動の学習の進め方を知り、基礎感覚運動にチャレンジする。
-----	---------------------------------

時間	主なねらい・学習活動	教師の指導・支援等
はじめ 10分	1, 集合・あいさつ 2, ペアストレッチ (USA) 3, めあての確認 めあて：学習の進め方を知り、パワーアップタイムにチャレンジしよう。	◇音楽をかけて、体も心もほぐしながら行う。
なか 25分	4, オリエンテーション ①とび箱運動のねらい ②学習の進め方 ③技の紹介 (切り返し系・回転系) ④学習のきまり・約束 ⑤シンクロ発表会について ⑥基礎感覚運動について ⑦場作り・準備片付けについて 5, やってみようタイム ☆基礎感覚運動を楽しもう ①平均台川跳び・コンパス (腕支持) ②リングインストップ (踏切) ③かえるの足うち (腰あげ) うさぎとび (腕支持、体重移動、着地) ④ペア馬跳び (腕支持・跳び越す感覚) ⑤トントンジャンプ (踏切、腰あげ) ⑦ステージジャンプ (踏切、切り返し) ⑧フワッとジャンプ (跳び降り感覚) ☆きらりタイム ○友達の試技を見ながら良いところを見つけたり、課題を解決するためにどのようにしたらいいか考える。 6, 学び合いタイム ☆低学年で取り組んだ動きを確認する ①踏み越し跳び ②またぎ乗り・降り ③跳び乗り・降り	◇スライドを使って、学習の進め方、きまり等一つ一つ丁寧に確認する。 ◇ゴールは「シンクロ発表会」であること告げ、目的意識を持たせる。 ◇安全面に十分気をつけて取り組むことを説明し、準備・片付けの仕方を確認する。 【基礎感覚運動】 ◇主運動につながることを説明し、一つ一つの跳び箱運動のどの運動につながるか説明しながら進める。 ◇高さがある運動は、安全面に十分注意するよう確認する。 ◇できたときはみんなで拍手して喜ぶ雰囲気づくりに努める。 ◇低学年で学んだ技やできる技にチャレンジさせ、思い出させる。
おわり 5分	7, 学習のまとめ ○今日の学習をふり返り、できたことや工夫点、できなかったことや次がんばること等を確認する。 ○次時の予告をする。 ○仲間と協力して、用具や場の片付けを行う。	◇「ふり返りのポイント」を参考に、今日の学習をふり返る。 ◇ふり返りと実技をつなげて目で確認できるようにする。

重点評価	(3) ④進んで用具の準備や片付けをし安全に気をつけている
------	-------------------------------

指導計画 <第2時> 切り返し系の技にチャレンジする。

ねらい	切り返し系の技のポイントを知り、基本の技に挑戦する。
-----	----------------------------

時間	主なねらい・学習活動	教師の指導・支援等
はじめ 10分	1, 集合・あいさつ 2, ペアストレッチ (USA) 3, 基礎感覚運動 (パワーアップタイム) 4, めあての確認 めあて: 開きやく跳びの技のポイントを知り、チャレンジしよう	◇音楽をかけて、体も心もほぐしながら行う。 ◇一つ一つの運動が主運動につながることを意識させながら行う。
なか 27分	5, やってみようタイム ○映像を見て開脚跳びの技のポイントを確認する。 ○開脚跳びにチャレンジする。 ○自分の力に合った場から練習を進め、ステップアップする。 ★跳び箱運動の基礎運動を意識させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 【基礎運動】 助走→踏切→空中① →着手→空中②→着地 </div> ☆きらりタイム ○友達の試技を見ながら良いところを見つけたり、課題を解決するためにどのようにしたらいいか考える。	◇技のポイントをおさえ、自分の課題を明確にすることを確認する。 ◇基礎運動のどの部分に課題があるか常に意識させながら進める。 ◇できたときはみんなで拍手して喜ぶ雰囲気づくりに努める。
おわり 8分	7, 学習のまとめ ○今日の学習をふり返し、分かった事やできたこと、工夫点等を確認する。 ○次の時間の見通しを持ち、自分のめあてを持つ。 ○仲間と協力して、用具や場の片付けを行う。	◇「ふり返りのポイント」を参考に、今日の学習をふり返る。 ◇ふり返しと実技をつなげて目で確認できるようにする。

重点評価	(1) ①跳び箱運動の基本的な技や発展技の行い方を知っている。 (1) ②切り返し系の基本的な技を身に付けている。きまりを守り、友達と協力して運動しようとしている。
------	---

指導計画 <第3時> 繰り返し系の技にチャレンジする。

ねらい	繰り返し系の技のポイントを知り、基本の技や発展技に挑戦する。
-----	--------------------------------

時間	主なねらい・学習活動	教師の指導・支援等
はじめ 10分	1. 集合・あいさつ 2. ペアストレッチ (USA) 3. 基礎感覚運動 (パワーアップタイム) 4. めあての確認 めあて：開きやく跳びの技のポイントをもとに、できばえをあげよう	◇音楽をかけて、体も心もほぐしながら行う。 ◇一つの運動が主運動につながることを意識させながら行う。
なか 27分	5. やってみようタイム ○映像を見て開脚跳びの技のポイントを確認する。 ○開脚跳びにチャレンジする。 ○自分の力に合った場から練習を進め、ステップアップする。 ★跳び箱運動の基礎運動を意識させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 【基礎運動】 助走→踏切→空中① →着手→空中②→着地 </div> ☆きらりタイム ○友達の試技を見ながら良いところを見つけたり、課題を解決するためにどのようにしたらいいか考える。	◇技のポイントをおさえ、自分の課題を明確にすることを確認する。 ◇基礎運動のどの部分に課題があるか常に意識させながら進める。 ◇できたときはみんなで拍手して喜ぶ雰囲気づくりに努める。
おわり 8分	7. 学習のまとめ ○今日の学習をふり返り、分かった事やできたこと、工夫点等を確認する。 ○次の時間の見通しを持ち、自分のめあてを持つ。 ○仲間と協力して、用具や場の片付けを行う。	◇「ふり返りのポイント」を参考に、今日の学習をふり返る。 ◇ふり返りと実技をつなげて目で確認できるようにする。

重点評価	(3) ①進んで跳び箱運動に取り組もうとしている。
------	---------------------------

指導計画 <第4時>かかえこみ跳びにチャレンジする。

ねらい	かかえこみ跳びの技のポイントを知り、挑戦する。
-----	-------------------------

時間	主なねらい・学習活動	教師の指導・支援等
はじめ 10分	1, 集合・あいさつ 2, ペアストレッチ (USA) 3, 基礎感覚運動 (パワーアップタイム) 4, めあての確認 めあて：かかえこみ跳びの技のポイントを知り、チャレンジしよう	◇音楽をかけて、体も心もほぐしながら行う。 ◇一つ一つの運動が主運動につながることを意識させながら行う。
なか 27分	5, やってみようタイム ○映像を見てかかえこみ跳びの技のポイントを確認する。 ○かかえこみ跳びにチャレンジする。 ○自分の力に合った場から練習を進め、ステップアップする。 ★跳び箱運動の基礎運動を意識させる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 【基礎運動】 助走→踏切→空中① →着手→空中②→着地 </div> ☆きりりタイム ○友達の試技を見ながら良いところを見つけたり、課題を解決するためにどのようにしたらいいか考える。	◇技のポイントをおさえ、自分の課題を明確にすることを確認する。 ◇基礎運動のどの部分に課題があるか常に意識させながら進める。 ◇できたときはみんなで拍手して喜ぶ雰囲気づくりに努める。
おわり 8分	7, 学習のまとめ ○今日の学習をふり返り、できたことや工夫点、できなかったことや次がんばること等を確認する。 ○次時の予告をする。 ○仲間と協力して、用具や場の片付けを行う。	◇「ふり返りのポイント」を参考に、今日の学習をふり返る。 ◇ふり返りと実技をつなげて目で確認できるようにする。

重点評価	(2) ②課題解決のために考えたことを友達に伝えている。
------	------------------------------

指導計画 <第5時>回転系の技にチャレンジする。

ねらい	回転系の技のポイントを知り、チャレンジする。
-----	------------------------

時間	主なねらい・学習活動	教師の指導・支援等
はじめ 10分	1. 集合・あいさつ 2. ペアストレッチ（USA） 3. 基礎感覚運動（パワーアップタイム） 4. めあての確認 めあて：台上前転の技のポイントを知り、チャレンジしよう	◇音楽をかけて、体も心もほくしながら行う。 ◇一つ一つの運動が主運動につながることを意識させながら行う。
なか 27分	5. やってみようタイム ○映像を見て台上前転のポイントを確認する。 ○自分の力に合った場から練習を進め、ステップアップする。 ★跳び箱運動の基礎運動を意識させる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 【基礎運動】 助走→踏切→空中① →着手→空中②→着地 </div> ☆きらりタイム ○友達の試技を見ながら良いところを見つけたり、課題を解決するためにどのようにしたらいいか考える。	◇技のポイントをおさえ、自分の課題を明確にすることを確認する。 ◇基礎運動のどの部分に課題があるか常に意識させながら進める。 ◇できたときはみんなで拍手して喜ぶ雰囲気づくりに努める。
おわり 8分	7. 学習のまとめ ○今日の学習をふり返り、できたことや工夫点、できなかったことや次がんばること等を確認する。 ○次時の予告をする。 ○仲間と協力して、用具や場の片付けを行う。	◇「ふり返りのポイント」を参考に、今日の学習をふり返る。 ◇ふり返りと実技をつなげて目で確認できるようにする。

重点評価	(1) ②きまりを守り、友達と協力して運動しようとしている。
------	--------------------------------

指導計画 <第6時>回転系の技にチャレンジする。

ねらい	回転系の技のポイントを知り、技のできばえをあげる。
-----	---------------------------

時間	主なねらい・学習活動	教師の指導・支援等
はじめ 10分	1, 集合・あいさつ 2, ペアストレッチ (USA) 3, 基礎感覚運動 (パワーアップタイム) 4, めあての確認 めあて：台上前転の技のポイントをもとに、できばえをあげよう	◇音楽をかけて、体も心もほぐしながら行う。 ◇一つ一つの運動が主運動につながることを意識させながら行う。
なか 27分	5, やってみようタイム ○再度映像を確認し、台上前転のできばえをあげるポイントを確認する。 ○自分の力に合った場から練習を進め、ステップアップする。 ★跳び箱運動の基礎運動を意識させる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 【基礎運動】 助走→踏切→空中① →着手→空中②→着地 </div> ☆きらりタイム ○友達の試技を見ながら良いところを見つれたり、課題を解決するためにどのようにしたらいいか考える。 6, 学び合いタイム ○同じ課題を持った友達と、場を選んで伝え合ったり教え合ったりして、練習を進める。 ○アドバイスボード (技のポイント、伝え合いのポイント、段階を踏んだ練習方法) を活用する。	◇技のポイントをおさえ、自分の課題を明確にすることを確認する。 ◇基礎運動のどの部分に課題があるか常に意識させながら進める。 ◇できたときはみんなで拍手して喜ぶ雰囲気づくりに努める。 ◇グループで互いの課題を解決するためにアドバイスしているか常に確認する。 ◇課題解決の手立ては、児童の困り感を確認してから助言するようにする。 ◇状況に応じて、T2 と連携して補助する。
おわり 8分	7, 学習のまとめ ○今日の学習をふり返り、できたことや工夫点、できなかったことや次がんばること等を確認する。 ○次時の予告をする。 ○仲間と協力して、用具や場の片付けを行う。	◇「ふり返りのポイント」を参考に、今日の学習をふり返る。 ◇ふり返りと実技をつなげて目で確認できるようにする。

重点評価	(1) ①跳び箱運動の基本的な技や発展技の行い方を知っている。 (1) ③回転系の基本的な技を身に付けている。
------	--

指導計画 <第7時>シンクロ発表会をする

ねらい	自分のできる技で、グループで協力してシンクロ発表会をしよう。
-----	--------------------------------

時間	主なねらい・学習活動	教師の指導・支援等
はじめ 10分	1. 集合・あいさつ 2. ペアストレッチ（USA） 3. 基礎感覚運動（パワーアップタイム） 4. めあての確認 めあて：グループでシンクロ発表会をしよう！	◇音楽をかけて、体も心もほぐしながら行う。 ◇一つ一つの運動が主運動につながることを意識させながら行う。
なか 27分	5. シンクロ発表会練習タイム ○グループの友達と協力して、発表会の練習をする。 ○前もって立てた計画をもとに、シンクロを意識して取り組む。 6. シンクロ発表会をする ○計画表をもとに、グループの友達とできる技で、シンクロ発表会をする。 ○グループごとにシンクロ発表会をし、見合う。 ☆きらりタイム ○もう一度発表したいグループに発表させる。	◇グループで互いの課題を解決するためにアドバイスしているか常に確認する。 ◇状況に応じて、T2と協力して補助する。 ◇跳ぶことが苦手な児童には、跳び箱の高さを下げてチャレンジしていいことを助言する。 ◇BGMをかけて、楽しい雰囲気で行う。 ◇ほかのグループの良い点を発表させる。 ◇技が決まった時は拍手をし、賞賛し合う雰囲気をつくる。 ◇グループごとの発表を見ての感想を交流する。
おわり 8分	7. 学習のまとめ ○今日の学習をふり返り、できたことや工夫点、できなかったことや次がんばること等を確認する。 ○跳び箱運動全時間を終えてのふり返りをする。 ○仲間と協力して、用具や場の片付けを行う。	◇すべての児童が自分の体力の高まりを感じることができているか確認する。 ◇単元のめあてを達成できたか確認する。

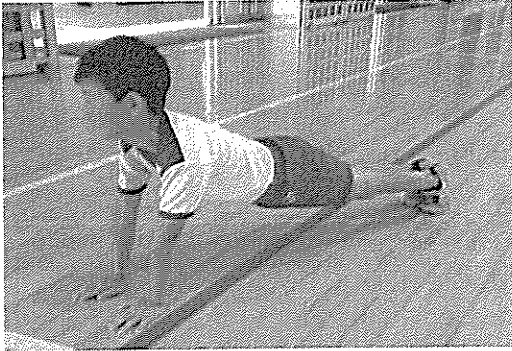
重点評価	(2) ①自分の課題に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 (3) ③場の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。
------	---

7 指導の工夫① 【基礎感覚運動について】

パワーアップタイム【跳び箱運動につながる基礎感覚運動】

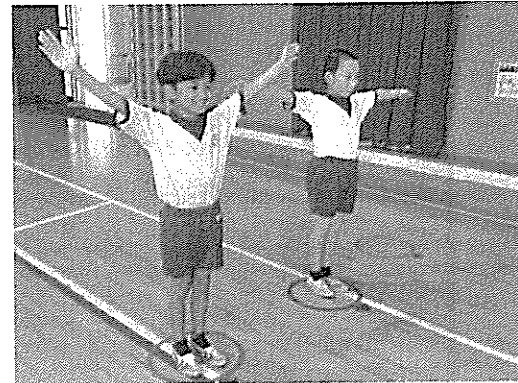
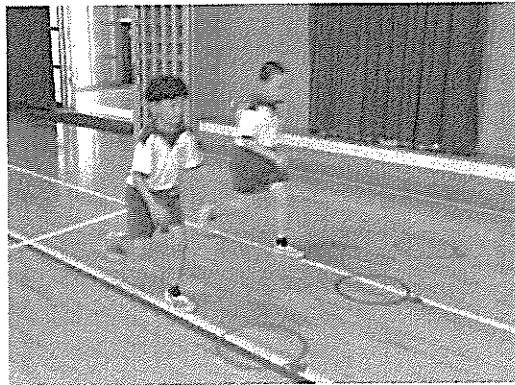
【①コンパス・平均台川跳び】うで支持の意識

うで立て伏せの上体になり、足を軸にうで支持を意識して時計回りと反対回り1回づつ行う。平均台川跳びは、体を支持して、腰を上げることを意識させ、できるだけ多く跳べるようにさせる。



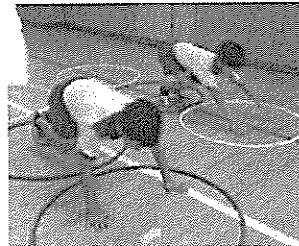
【②リングインストップ】ふみきりと着地を意識

両足で踏み切ったり、着地をすることを意識させる活動。力まず助走し、リズム良くリングの中に力強く両足で着地する。「ドン」と足音を大きく立てることが大切。



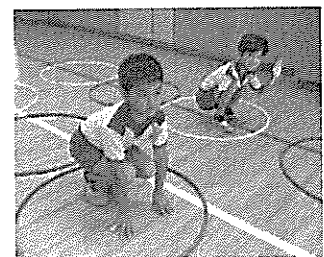
【③かえるとうさぎ】かえるの足うち、うさぎとび

かえるの足打ちは、腰を高くあげて意識させる。目線は手と手の間より少し上。うさぎとびは、遠くに手をつくことを意識させるためにフラフープを使用する。手の位置に足をもってきて、切り返すことが重要。



遠くに手をつく

↑ 上体を起こす



【④ペア馬跳び】腕支持、跳び越す感覚

ペアでの馬跳びは、腕支持と跳び越す感覚を味わうのに効果的な活動である。跳ぶ方に合わせて高さを変えて取り組ませ、馬になる方はあごを引き頭に当たらないよう気をつける。じゃんけんをして楽しく取り組ませる。



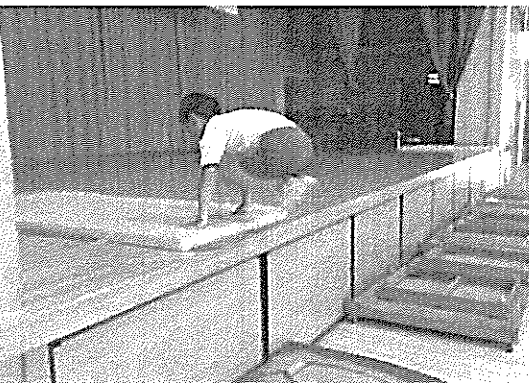
【⑤トントンジャンプ】踏み切りと切り返しを意識

両足で踏み切り板を強くける感覚を養う。リズム良く腰を高くあげて膝を伸ばすことで大きく跳べる。トントンジャンプで跳び箱に跳び乗り、着地まで意識してマットに両足をそろえて着地する。



【⑥ステージジャンプ、フワッとジャンプ】

強い踏み切りと空中でのフワッと感覚を養う
踏み切り板を強くけり、腰を高くあげてステージに乗る。強い踏み切りを鍛えることで、腰を高く上げる感覚を養う。フワッとジャンプでは、フープに向かってフワッと降りる感覚を養う。

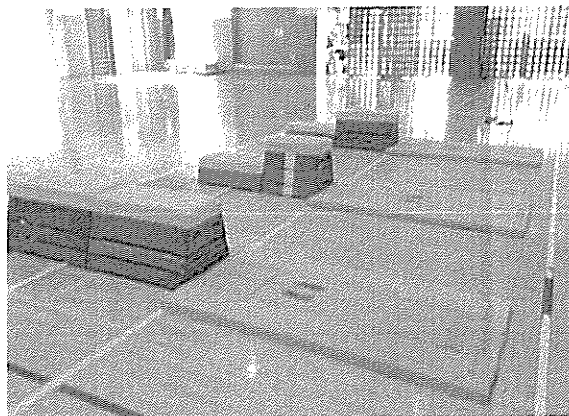
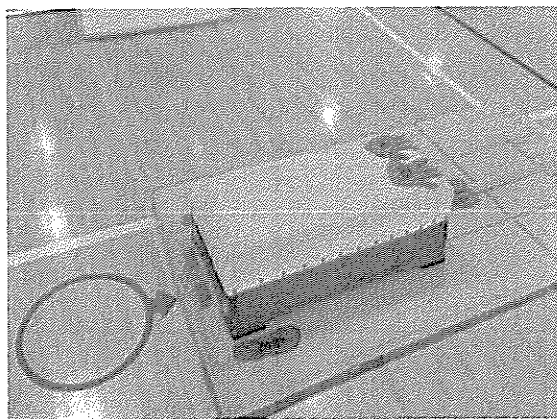


指導の工夫②【運動が苦手な児童への手立て】

◎スモールステップを意識させた場の設定の工夫

跳び箱の高さに恐怖感を持つ児童への手立てとして、マットの場、跳び箱1段の場、跳び箱を二つ連結させた場等、徐々にステップをあげていく場を設定し、恐怖心や苦手意識を取り除いていく。スモールステップでいいことを伝え、安心して活動できるように配慮する。

また、ケンステップや手形、足形マットを活用し、視覚的に分かりやすいようにすることで、進んで活動する意欲を高める。



◎ICT機器の活用①（スクリーンでの模範動画の活用）

器械運動の指導においては、模範動画の活用が有効的である。新しい技の習得の際に、動画を見ながら技のポイントを確認することで、児童が安心して技に取り組むことができる。

また、授業中児童自らパソコンで操作できるように、前もって説明をし取り組ませることで、自分で課題解決に取り組む手立てとなる。

※動画資料：公文書院「デジ体」



◎ICT機器の活用②（iPadを使ってできばえの確認）

教師がICT機器（iPad）を使って児童が技に取り組んでいる様子を撮影し、コマ送りやスロー再生機能を使って、できばえの確かめを行う。自分の技を映像でみることで、できばえに気づいたり、友達の良さを確認できたりするので、伝え合いや教え合いの手立てとなる。

教師が撮影することで気づかせたい視点を明確に撮ることができる。

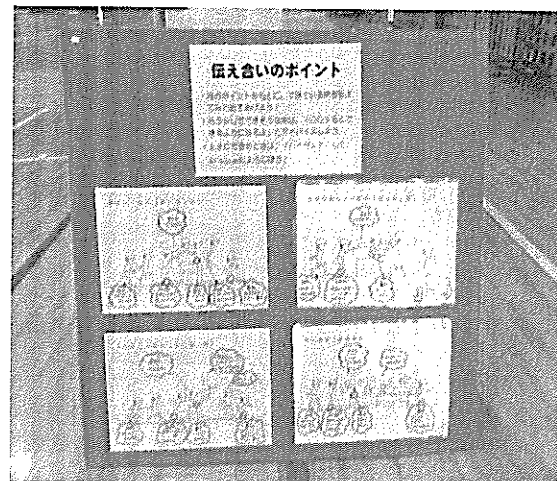


指導の工夫③【考えを伝える事が苦手な児童への手立て】

◎練習方法や技のポイントが掲示されたアドバイスボードの活用

【アドバイスボードの内容】

- ①段階を踏んだ練習方法
自分の課題に合った場を選択させ、易しい場から段階的にステップアップできるようにする。
- ②技のポイント
できない時に参考にしたり、学び合いの手立てとする。
- ③伝え合いのポイント
アドバイスの仕方の掲示。アドバイスが苦手な児童は見たことを伝える事から始めるよう配慮する。



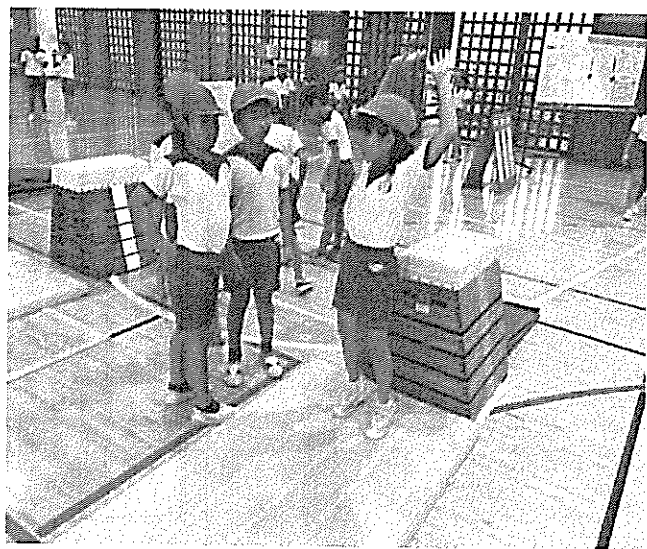
自分の課題に合った場や練習の仕方を掲示して、練習方法を選ぶ手立てとする。

「伝え合いのポイント」や「技のポイント」を掲示し、学び合いの手立てとする。

◎児童が互いに学び合う隊形の工夫（学び合いスタイル）

「学び合いスタイル」と題して、跳び箱の横に立ち、児童が互いに学び合う隊形をつくる。

技に入る際に、「〇〇を見て下さい」と、技のどの部分を見てほしいか視点を明確にする。横で見る児童は、その視点を見やすい場所ですっきりと見て、良かったところを認めたり、よくなる方法をアドバイスしたりする。その際、アドバイスボードにある技のポイント等を参考にさせる。励まし合いながら学ぶ雰囲気をつくり、児童の思考力・判断力・表現力等を育成する。



場の設定 (体育館)

